

第22回近畿高等学校弓道選抜大会 結果報告

個人・団体ともに、上位入賞ならず

予選6位に入るも決勝トーナメント進出ならず・・・

11月23日(日)、大阪城弓道場において「第22回近畿高等学校弓道選抜大会」が行われました。この大会は、各府県の予選を勝ち抜いた個人で男女各36名(各府県6名)、団体で男女各14校(各府県2校+開催県1+前年度優勝校1)が参加して争われます。1月の全国選抜大会に出場する学校はその前哨戦として、その他の学校は、全国選抜出場を逃した悔しさをぶつける大会となります。本校は、個人戦に男子前田、団体戦に男子団体が出場しました。

◆11月22日(土) 道場開放(公開練習)

午後から大阪城弓道場で公開練習が行われました。明日の本番に向けて最後の調整です。実はこの日、本校では「オープンスクール」が行われており、我が弓道部もクラブ体験として講座を開くため、宮原先生と選手4名のみ公開練習に行き、その他の部員は「オープンスクール」の講座や開会式の手伝いなどをしました。

◆11月23日(日) 開会式・個人戦・団体戦

個人戦 「優勝」を目指して・・・

近畿選抜大会は、出場選手・出場校の数がかなり絞られており、個人戦と団体戦を1日で終わらせてしまいます。開会式のあと、まずは個人戦です。1立4射3中以上で予選通過、その後は予選の的中に関係なく射詰競射となります。さあ前田の出番です。新人戦で優勝しての出場でしたので、しっかり「優勝」を意識して挑みましたが、予選4射2中であえなく予選落ちとなりました。どうしても1本目を抜いてしまうと、余裕がなくなってしまいます。まだまだここ一番での集中力が足りません。全国選抜に向けてまだまだやるべきことがあるようです。

開会式



個人戦・前田



団体戦 大阪4番目での出場・・・

いよいよ団体戦です。今回は、大阪で4番目での出場(本来各府県2校ですが、大阪開催のため+1校、さらに東淀川高校が前年度優勝校の枠で出場するため、さらに1校追加されたため)ということで、出ただけでもラッキーみたいな感じですので、あまりプレッシャーを感じずにこの日を迎えました。しかもこの大会は予選2立でいきなり4校に絞られるため、「さすがにベスト4はしんどいなあ」という感じもありました。しかし、出るからには一発やってみようという気持ちで出場しました。

まずは予選1立目です。メンバーは1年場口、西野、2年前田でいきました。1本目、3人とも×。最近1本目が悪すぎます。最後何とか盛り返しましたが、12射6中どまりでした。2立目も1本目××で、前田が的中で踏ん張り、12射7中とし、合計13中となりました。とても納得できる的中ではありませんが、本校の今の実力から言えばこんなものかと思います。いつもの大崩れする悪い癖が出なかつただけでもよしとしましょう。当然ベスト4に残ることは出来ず予選敗退となりました。(予選通過は16中だったようです。)しかし終わってみれば、13中は第6位という順位でした。夏の近畿大会みたいにベスト8まで残ればチャンスがあったのに・・・と思いましたが、この順位にあまり意味はありません。しかし、4校出場した大阪勢ではトップとなったことは、自信になります。ただ、大阪1位の浪速高校が修学旅行のため、主力の2年生がおらず1年生のみでの出場でしたから、あまり胸を張るわけにもいきませんが・・・



今回、あまり良い結果を残すことは出来ませんでした。これまでがうまく行き過ぎていた面もあります。もう一度地に足をつけてしっかり練習して本当の実力をつけていきたいと思います。次は、前田が1月の全国選抜大会で、他の部員は3月の全国私学大会が目標となります。1立目の1本目を必ず的中できる強さを身につけてほしいと思います。



男子団体

※残念です・・・

※今回、試合前に残念なことがありました。試合に出場予定だった部員が、朝の集合時間を勘違いして、しかも寝坊もして会場に遅れてきました。部員を代表して試合に出場するという選手としての自覚のなさに、情けなくて怒る気にもなれませんでした。当然メンバーを急遽変更することになりました。的に当てる技術だけが身につけても何の意味もありません。日頃の生活態度、時間・約束を守ること、挨拶すること、常に感謝の気持ちを忘れないこと・・・こういうことをおろそかにしては弓を握る資格はありません。他の部員も含め、もう一度考えてほしいと思います。

日常生活でいい判断ができないやつに、グラウンドでいい判断ができるわけがない。